

総一集一編

# 下 界 皇 女

Osaragan



The Heroic Legend of Arslan  
unofficial fan book - Omnibus

黒之野合編

R-18  
ADULT ONLY

n i e d e n k a

# 下殿贄

✦ Omnibus ✦

The Heroic Legend of Arslan  
unofficial fan book - Omnibus



黒々サ会場





アルスラーン殿下は  
その身で貴族を  
惑わし兵を募る

愚かで恥を  
知らぬ淫蕩な  
王子である……

そんな噂が

私が屈辱を受け  
容れたあの日から

近隣諸国に渡り  
まことしやかに  
囁かれていた





異文化会報



CONTENTS

目次

- 
- |     |                     |
|-----|---------------------|
| 005 | 賛殿下                 |
| 019 | 賛殿下 After           |
| 085 | 賛陛下 omnibus (描き下ろし) |
| 118 | カラーイラスト集            |
| 124 | あとがき                |
| 125 | 奥付                  |
- 

パルス暦三二〇年  
國を追われた王太子  
アルスラーンは

諸侯の一人である  
ホアイル卿の援助  
を受ける事になる

おおよくぞ御無事で  
アルスラーン殿下

しかし若すぎる  
王子は氣付か  
なかつたのだ

この城塞の  
入口が

彼の更なる  
受難の始まり  
である事を――

まっ

待て  
ホディール！  
今なんと！！

ええ  
ですから

支那の奥庭に  
陛下の御身を  
隠りたいと……

そう中して  
おるのですよ

それは……

キラッ……

つまり王子たる  
この私に婚姻の  
真似事をせよと……

そういう事  
か……？

ほはっ  
まさか！

陛下はご自身の立場  
どころか婚姻さえ  
知らぬと見える









「なんと……  
下衆な……」

……だが

そう怖い顔を  
なさいますな陛下  
花の顔が  
台無しですよ

断れば別室に隔離  
された仲間達に  
危険が及ぶだろう……

者には拘束  
私達を敵軍に  
仕立てるのだ



この場を  
収める最も  
簡単な方法……

それが  
この身を  
差し出せば  
ならば……



「わかった」

ただし触れ合い  
しか許さぬ

それ以上の事を  
する気ならば……

勿論ですとも

…さて

了承も得られ  
た事ですし

…

じっくりと  
親睦を深め  
ましょうな…

んん…なんと  
張りのある  
滑らかな肌触り…

しなやかな  
筋肉が美しい  
ですのう…

純白の肌に  
桃色の乳首が  
映えますな…

ホ…  
ホディール  
待て…







なあに…

これも触れ合いの  
一環ですゆえ

約束は違えて  
おりませんぞ？

ふふ！

しかしそんな  
お顔をされると

興奮して  
きますなあ…♡



ほれほれ  
臭気を出して

なぜ私が…  
こんな…

臭い…

気持ち悪い…

ああ…♡

あのアルスラーン殿下がわたくしの恩物を…♡

すばらしい光景ですなっ…♡

そうそう…この時間まで丹念に…舌で舐めようように…

よん♡  
よん♡

…  
抽い口淫を舐めるのも一興ですが…

このようにっ♡

殿下のおクチを相雑に扱うのもまた趣が増しますなっ♡

おん♡





はー

はー

はー

おやおや...  
そんな  
ご様子にて...

ないけません  
なあ...



「次」からは

きらんと  
飲み込むの  
ですぞ...♡



また明日も  
楽しみにして  
おりますからな

今宵はこの程度に  
しておきましょう

どういふ事だ  
ホテイルっつ  
この限り  
ではっ!!



くれぐれも  
陛下の  
ご内密に……

陛下には常に  
見強りをつけて  
おりますゆえ

後日ホデイルの  
要求は更に過激に  
なっていくた

……さあて  
陛下

今朝お贈り  
したものは  
身に付けて  
おりますか

……ああ

確認させて  
下され

まひん



おお♡

しっかりして  
着用されて  
いますな♡



おやおお  
おおお  
おおお  
おおお  
おおお

ふふ…  
ふざけるな…

このような  
悪趣味な  
履き物！っ

ふに…

まあまあ！  
これからの行きを  
ですゆえ！



先日の復習を  
いたしましたし♡

さあでは殿下  
ごちん…



まあまあ  
私がありました  
なあ……

ほれ開くと  
奥まで見え  
そうですぞ

桃色の肉壁が  
ウネウネと……

早く……  
んん……

想像しただけ  
ガマン汁が……

んん……  
ほかしもう少し  
でほくしが必要  
ですしな……

……ではこう  
しましょう

殿下がわたくしを  
射精させられたら

解放してさし  
あげますよ



なあと  
昨夜と同じ  
要領ですゆえ

ま...  
またこれを...



早く  
しなさい

まし穿奥増やして  
すませてお



このように  
ほれっ♡

だめだ...  
早くホテルを  
軒翻させねばっ

このままでは  
お尻が痛いの...



可一…  
は…  
あ…



初めて弄られる  
お尻で縛する  
とは……

もしやこちらの  
才能が  
おあり  
な  
ので  
は？



そんな殿下に

更に美敵なし  
贈り物を致し  
ましよう……♡

…殿下

皆とも話し  
合いました

やはり早急に  
この城塞を出る  
べきと存じます

ホディール姫は  
信用できません

いつ裏切を  
極められるか…

…いや  
ホディールは…

…  
彼は悪い人  
ではないよ

しかし…

案ずるな

おめしらは  
ゆつくり  
旅の疲れを  
癒してくれ

…よいな？





殿下……



お待ち下さい  
殿下っ！

たっ  
たっ



……なんとも

健気では  
ないですか  
殿下……



……しかし  
あの者もまさか  
自身の主が……

尻にこのような  
物を仕込まれて  
いるとは……

思いもより  
ますまい……

なっ  
がっ

ズル……



よい調子です殿下…♡

仕方ありませんなあ！♡

め！抜いてくれ！書しい！つ！

これならあと数日で…♡

んはっ…♡



今後は殿下ご自身でも慣らしておくのですよ♡

課題ですからな♡

屋間でも抜き打ち確認致します故

例え外でもしっっかり抜けて見せるのですき…♡

大丈夫…

もう暫くの  
辛抱です…

あと…  
もう少しで  
終わる…

あともう少し  
耐えれば…

この屈辱の  
日々が…

——一ヶ月後——

おつかい……

何なんだ  
この衣装は……

お前様下  
お持ちました

肌をひいたり  
張りついで……

それに  
押の下は……

喉より  
はずか

今まで増強つて  
頂いたのは全て  
この日のため……

その衣装は  
正しいですよ

……まあ  
さう思ひ  
なさいませうな

では今商を  
願えれば……

うーん  
美し  
かしん  
…

本  
当  
に  
よ  
く  
お  
似  
合  
い  
で  
…

異  
國  
の  
極  
薄  
素  
材  
で  
製  
作  
に  
苦  
勞  
し  
た  
甲  
斐  
が  
あ  
り  
ま  
し  
た

肌  
に  
吸  
い  
つ  
く  
よ  
う  
で  
し  
よ  
う  
♡

こ  
の  
つ  
ま  
ん  
で  
ほ  
し  
そ  
う  
な  
乳  
首  
は  
ど  
う  
さ  
れ  
た  
の  
で  
す  
?

…お  
や  
と  
…

も  
し  
や  
逃  
げ  
逃  
げ  
で  
興  
重  
し  
て  
お  
ら  
れ  
る  
の  
で  
す  
か  
な  
?

そ  
れ  
と  
も  
ま  
さ  
か  
直  
に  
こ  
ね  
回  
さ  
れ  
たい  
と  
か  
…?

ク  
レ  
ク  
レ  
ク  
レ



わたくしもう  
物振が止まら  
ないのですよ…

この日のために  
溜めてきました  
からなア…

ほれ…金玉が  
パンパンなのが  
分かるでしょう♡

殿下も  
そうでは？

し…  
知らぬ…

ん…



しらを切る  
つもりですか

では…

これは

何です  
かなあ…♡

しゅっ



乳首でこう  
なつてしまっ  
とは…

清潔な御手で  
とんだスケべさんで  
いらつしやる♡

はっ

はっ



今宵でこの取引は  
終わりなのだろう!?

早く終わ  
らせ! つ

んん?

んん...

一体いつまで  
こんな卑劣を...

全く裏に  
いやらしい...

おや...  
腹立たしい...



おやあ  
陛下!

それはもう  
許されないと  
いう事ですなり?

では本懐を  
遂げさせて  
頂きましょうか

それは  
勿論!

わたくしを陛下の  
胎内に受け入れて頂く  
愛の儀式ですよ...

そ...  
そんな...

無理...

どきん

どきん

どきん







ほろれ  
麗なされ...

しっかり入り  
ましたぞお!♡

流石は偉!!♡  
拡張しやすい上に  
締め付けも程よく...

ぬ...抜いて...  
抜いてくれ...っ

頼む...っ



ぬるるるる...♡

これこれ  
黒れすとも...♡

おあおあ♡



ここまで来て  
往生際が悪い  
ですぞ殿下ッ

わたくしは……  
殿下が王宮に  
上がられた頃からっ

殿下と種付け文庫  
できるこの目をッ  
待ち望んでいたの  
ですからなッ♡



あり気持ちです  
ですぞおッ♡

殿下も良い所が  
あればぜひおねだり  
して下さい♡

はっ！  
はっ！  
はっ！  
はっ！



ああこのように口吸いまで……

舌が絡みつき……



まるで夢のよう……

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

……



いやだっ……  
壊されるっ……

ちゅっ……

ちゅっ……



失礼しますぞ  
殿下っ……♡

こんな状態でこれ以上奥を突かれたらっ……

私は……

ちゅっ……

ちゅっ……

ちゅっ……  
ちゅっ……



ちゅっ……

ちゅっ……

私はっ……♡

ちゅっ……



んほおおっ…  
早々にイキそう  
ですっ！♡

殿下はいかが  
ですかな！

はっはっはっはっ  
はっはっはっはっ



では一緒に  
イキましようなっ

いやだっ  
いや…っ

いけません  
殿下ッ

ギン  
ギン

すっかり中出し  
するまでが  
まぐわいですゆえっ

よろしい  
ですなア！

このまま出し  
ますぞおっ♡

はっはっはっはっ  
はっはっはっはっ

溜めに溜めた  
子種汁ツ……

しっかり受け  
止めて下されっ♡



この晩も  
その晩も

ホアイルルは  
幾度となく  
私を犯し続けた

大国の王子を殺す  
責務と悦楽は

彼にとって  
どれ程のもの  
だったのだろう

その欲望は  
留まる事なく

私を貪り  
壊していく

ほれ殿下ッ

騎馬の民ならば  
しつかり腰を  
使うのですっ♡

teho teho teho teho



仕方ありませんが  
ここはわたくしが  
お手本を……

おや……  
もうお座れ  
ですか？

足腰がなって  
おりませんな……



熱い...

Lo Lo!

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

それ馬  
ですぞおっ♡

はっ  
はっ

それ♡

それ♡

それ♡

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ

クワッ  
クワッ



終つて中を隔いで  
いたで、世を隔いで  
いた、世を隔いで

死んでいく、  
死んでいく、  
死んでいく、

抱かれる度に  
「王子の私」が  
死んでいるのだ

では…

この私は…

仲間達の前で  
無垢な少年を  
演じる私は…

「私」は誰…?



ああ！  
いで！  
下下！  
すす！  
♡♡♡

奥まですっかり  
造物の形を  
覚えたようで……♡

もしやわたくし達は  
体の相性がよいの  
かもしれませんな♡

さぞかし具合が  
よろしいでしょう♡

そ……っ  
そんな  
わけ……っ



なんですと？  
それは  
いけません！

では更に濃厚な  
種付けをして  
差し上げねば……

……な  
なにを……





ズズズズズズ

殿下の体は誠に素直ですなあ♡

早くから

早く終わって  
くれ！って

ほれっ♡  
そんな  
にっ  
締めたらっ

おおっ♡

またイクッ  
イキますぞっ♡

無理……っ  
もう……っ♡

パッパッパッ



お慕い申して  
おりますぞ…

アルスターン  
殿下…♡





…殿下



流石にもう  
そろそろ…

一体いつまで  
この城塞に籠もって  
いるつもりですか…？



…ああ  
それについてだが



ホダイールの  
協力もあり

このままここを  
拠点に兵を募る  
ことになった

既に多くの  
貴族達が援助を  
申し出てくれてな  
これからは  
その重責を  
なんだ



…大丈夫



…だから  
詳しくは  
あとで…

…それは…



こんな私にでも  
きつとできる事が  
あるはずなんだ

どうか私を  
信じて待って  
いておくれ

みんな

陛下……



本来であれば  
この身など

初陣でとうに  
裏切られたを  
曝したはずなのだ



ならば……

お……



それが今  
誓の彼に立ち





名もなき私に救いの手を



NIENKAI OMNIBUS

NIENKAI Omnibus

NIENKAI OMNIBUS





「ああ、  
華やかなもの  
らしいな」

「しかも花とは」

「諸侯たちからの  
殿下への贈り物の花は  
種類ばかりですね」

「切ないですね」

「新島様を喜ばせも  
彼らの財力誇示の為の  
演習だと思おうと」

「はあ」

「でも  
殿下には  
きつと」

「華やかな演習よりも  
こちらのほうが  
お好きいですよ」



殿下

「今度購入した  
お花です」

「意外ですが  
清潔で優しい  
香りが……」

あ

「上げれば後で  
殿下の研究室に  
飾って」





全端に過ぎ  
ないのだから

お前さん

お前さん

お前さん



さあ陛下、  
皆様にその御身を  
明け出して下さい

お待ちして  
ございましたぞ

おお……っ!!

大國の王子が  
なんと浮らな  
格好を……

そうですよ……

そのように華麗な  
お姿を現身に  
見せつけるなど……

一体何をとお考え  
なのですかな……?

大衆の面前で  
乳首を晒し  
されるなど……

全く以って  
けしからん……!

私……

陛下に見られて  
興奮なされて  
おるのでしょう！

陛下の  
お姿を  
拝見する  
だけでも  
興奮する  
ほどです

のい……

今後は陛下自身の  
御指図で御座り  
たいと願っています

これはその為の  
權しで御座います

……





まさか我々に  
陛下の御身を  
一晩中醜れど  
申すのですか？

この…様子の  
目に映り付いて…

乳房をこのように  
弄り倒して…

あまつかえ  
菊座に肉棒を突き刺し  
体液を注げど…？

ま…待て…  
それは…？

しかしそのような  
悪魔の如き所業  
我々にはとても!

そりゃ  
ですぞ...

これ  
こゝろに  
置え...

閣下のこの面白い  
身体に惹かれて  
ついには...

可哀想では  
ないですか...

愛して...  
好き放題に  
辱を浴びて...

この一週間はめ込んだ  
僕の遺尿を汁を  
殿下に注ぐなど...

まともな神様では  
出来んよ!♡

ううん!  
わたしも神に  
お返しのですが

彼が一度は満足すれば  
閣下の気が収まらぬと  
思っています!

モメモメ

P.L.O.

モメモメ

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく

びく





いや、私は  
そのような事  
一言も……っ

陛下がそう仰られる  
のでしたら仕方  
ありませんなあ？

ほう？

ええ、大変  
不幸ですが



陛下……っ



皆で陛下と親交を  
深め合いますようぞ





ヒツビタして  
おりますぞ♡

すでに慣れて  
いやらしい  
ですなあ…♡

んん♡



おほお♡

皆も  
ご照覧あれ♡

おほお♡

おほお♡

そんなに  
物欲しそうに  
されて…♡

なんとも美しい  
番だろー！



そんな事  
言われても…♡

ほれ見なされ！  
陛下のせいで僕の  
逸物がほれつ！

僕ももう  
聖衣の味が  
切れそうですよ♡

んん、確かに昔が物陰  
しているのは股下の  
せいなのですからね...

「それは  
責任をどうして

そろそろ  
理付け親睦会と  
洒落込みましょうか♡

では股下っ  
早速打ち込んで  
からっ...

特で「おれ」が  
年長の側が  
いや恥ぢるわ  
意味の境界でっ

では榮えある  
最初のお相手は

まあ皆様そう  
集らず...

一か月禁欲している  
彼にいたしましょう♡

お...り  
大...お...め...  
お...り

ヒキ

ヒキ  
ヒキ  
ヒキ





開け……

では股下  
ひとつ開けを  
しましょう

んー！股し方  
ありませぬな



これこれ股下  
開きをおどき  
下さいます

だ……っ



ええー！  
股々より先に  
射精するのを  
我慢するのです

そろすれば股下が  
お嬢な事は一切  
致しませぬゆえ……  
開きでしよう？



……わかった……



んおお！♡  
なんと滑らかな  
觸肌……っ

手が止まり  
ません  
なあっ……♡

見抜きだけで  
金玉が空になって  
しまっ……っ♡





気持ちいい♡



くっくっ  
相手の顔の感触で  
快く感じる♡♡

嬉しいのが  
出そうだから♡



ほれほれ  
もっと顔を  
擦って♡

そのような甘スリでは  
僕の恋物は発散され  
ませんぞ♡

観察させて  
刺戟するから♡

刺戟なら…  
やめる…

お前さんの乳  
も舐めさせて…



お前  
さん…  
さすなあ…♡



お時間があるからと  
 酒肴が焼けるにうっ  
 しんしますからな

手の届かない  
 距離だから  
 しらしていい

もぐもぐ

ぐんぐん



どろどろ  
 ぐんぐん  
 ぐんぐん

お前の口  
 はなのうっ  
 反則……D

どろどろ

どろどろ  
 ぐんぐん  
 ぐんぐん







この……  
奥性者……

奥性者……

奥性者……

奥性者……



んふん♡

股下も舐め  
されたのでから  
嘘ではありません♡

道場達々この為  
にやってきました  
ですからな



はれ  
愛のまぐわいを  
始めましょう♡

最後の一滴まで  
来させて  
頂きますぞ♡







全く立派な思想を  
お持ちだ

王たるもの  
如何なる時も気丈で  
あらねばです！

んんん

陛下は正になられた  
上には容赦無量の  
處止を仰げるつもり  
なんでしょうか？

お断りです。から  
この間まで、はられ  
てはいけませんな。あ

んんん

たのびー  
もう一件して  
くれーっ！

おれも...  
この間まで...あ



まあしかし  
そんな事許し  
ませんかねえっ！

何故なら陛下下ッ  
貴殿が天子様専用の  
高貴なる後兵衛様として

昼夜問わず愛でられる  
のですからなア！









全裸の穴という穴からしつかり挿れさせねば...

アッ

アッ

…陛下

これから先は  
皆様に申し  
合せて頂きます

陛下からお出で  
は御座りませ  
んからな

わたくしの御座  
りませぬと申  
させていただきます

ほれほれ  
種汁で美しく  
飾って差し上げ  
ましょうな♡

お顔をよおく  
見せてください♡



ほろーれ

胸下り  
さあ  
お刺戟される  
のです♡

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が

あー  
お刺戟されて  
お尻が  
お尻が  
お尻が







どうぞそのまま  
王子としての役目を  
全うして下さい





それから数日

諸侯の協力の下に  
兵力を高めた  
アルスラーン軍により

敵国ルシタニアは陥落  
王都は無事奪還された

その最中

父アンドラゴラス王の戦死  
母タハミーネ王妃の失踪以降の

若くして彼は正式に  
王に即位する事になる

多くの国を残したまま  
戦乱は幕を閉じたのだ



私はこれから  
より一層

國のために生き  
國に心血を注ぎ

やがて國の礎として  
死ぬだろう



精進の暇みもの  
としても

父上の徳儀として  
生かされるのとも

さーて相違な



アルスラーン15歳

遠い所から  
よく来てくれた

私が

バルス国王  
アルスラーンだ

今宵は

どうか  
よろしく願ひ

少年は そして王となった

NIEDENKI Omnibus

NIEDENKI Omnibus

NIEDENKI Omnibus





国が陥落  
しかけたのは  
この世の神話を  
背負ったものだが

見逃されるほど  
立派になられて！

あつとばかりおられる  
種別な家臣の方の愛への  
お陰もあるのだろう

願く  
清くにして  
濁さぬ  
賢王！



まさに

このパルス国の  
宝ですな







わたくしも  
もう年です  
からねえ...

先ほどから随分  
ご立派なお姿で  
前にして  
堪え切れず

それほどの  
麗しの貴族の  
仕方の気遣い

ゆえに  
本腰をいれて...

こんな...  
だめ...♡

まっ  
待て...

こんな所で  
なに...

や...

ほれっ♡

ひゃあっ♡

ちやん

いっしょに  
舞はる事が  
楽しみなんですー

やはりこの場所  
だかあつしょうか

既知ですか…

大勢の民や家臣の前で  
王の舞踏を奉たされ  
ていたわけですし

いや…  
言うな…

まじか…

皇族のあの期待と  
尊敬に満ちた  
表情の前に

この落ちで  
華しい姿を  
晒したら…

一体どうなるの  
でしょうねえ…

おっと…  
凄まじい  
締め付け  
です…

しかし  
これでは時が  
あきませぬわ

まだまだ  
お仕事が控えて  
おりますのに

早々に快楽に  
耽るなど  
言語道断

王に暇など  
無いのですよ



さあ陛下っ♡

夜の儀儀を前に  
一発キメさせて  
頂きますぞっ♡

そんな...

何...

んんん

なんど  
おいたかし...

貴様ら下等兵にも  
特別に御ませて  
やりますゆえっ

しっかりと目に  
焼き付けなさいっ♡

溢さないように  
奥にだしますゆえっ

責任をもって  
臣下の肉棒を  
お勞わり下さいっ♡





玉座を洗す  
ところでした  
おおつと  
危ない

また  
無駄打ちして  
しまいましたな…

王の子種！  
白らでも味わい  
下さいませ！♥



パルス歴324年  
無事王都を奪還してから3年の月日が流れた







アルスラーン王は

今までの  
武に相違ない  
とは思ひ

自らを  
可成り  
心懸け

その  
有り  
熱意  
に  
驚か

# "王" はどうに高貴な存在などではないというのに



あれから3年ぶり

御前を  
御前

その身は骨まで  
食ひ尽くされた

見なげ

これが民草に  
全てを捧げた王の姿

何者でもない

戦場で散っていった  
子供達と同じ無力な……



# 哀れな子供の成れの果てだ

んん〜♡  
どこもかしこも  
怪物の卵のような  
種々しき…

これが  
高貴な王の  
夜のお姫とは…

信じられませぬ…♡

以前までは  
しやぶられるのも  
嫌がっておられ  
たというのに

口付けも  
お上手に…♡

言わずとも  
舌を絡ませて  
おいでな♡

一は  
「んん〜♡」  
聞かせたいだけ  
だ…♡

そんなつれない  
事を言っ♡

愛いませ  
ぬ…♡





おほおおおおっ♡

パルス王国ツ♡  
万歳ツツツ…♡

はあっ…  
陛下ツツ…  
陛下あツ…♡

わしの負けて  
ごめいます…♡

まさか性愛たるわしが  
敵対で種付けをキメて  
しまつとは不覚っ…♡

おはっ…♡

この香りも…  
ずつと…  
吸っていたい…

もっと…  
もっと踏み合ひ  
ましようぞっ…♡

おっとー！  
陛下は次の  
予定が詰まって  
おられますゆえ

生ハメ種付けは  
おひとりで  
1回までですよ

なんですとー！  
もうすでに灰弾の  
準備が整ってしまっ  
てるというのにっ！

ふふー  
お人前で  
ごさいますな  
ですが…  
「安撫次第では…  
ね！♥

よしっ  
では私は届出さ  
ずではないかっ

いやいや私が  
一番出します  
ゆえっ！♥

私の肉神も  
はようっ！♥

おっ♥  
陛下いま  
イキましたな♥

此れわが  
御座り  
ですよ

たまらん  
のうっ！♥

んー…  
エロ過ぎ  
ますねえ

いやらし過ぎて  
また顔面がいきり  
立ち始めたぞい♥

おふう  
この如きは  
流石っ！  
古流いで腰が  
砕けそうです♥

こりやあ  
凄いつ

まとしての  
お股がなつて  
おられますな♥

いやはや  
まっ！♥

上下ともに  
全通ですよえ♥

痛もまた痛く  
なつてきたわい…♥

ああー本当に  
このようや！  
生で最少年王の  
高貴なケツ穴を  
便所の如く  
扱うなどっ！  
許されぬ背徳♥

たまらんっ♥  
納射に中絶し  
ますぞい♥

世襲きを  
孕ませて  
やるっ！♥

おはっ♥  
陛下っ

んおおお  
イクイクイクイク♥  
イクウツ♥



んほお！♡

妻も腫がる僕の  
長テンプをこうも  
容易く受け替えて  
下さるとは……っ

流石  
王の體の  
深さや……♡



おお皆様  
慌てず  
順番に順番に……

陛下のお体は  
おひとりで  
つかえますからな

ゆっくりを……  
「順番あそばせ……」

いつもと同じだ… いつもと……

—お慶れ様でした  
陛下……

皆様とても  
ご満足されて  
おりましたぞ◆

此度も見事な  
乱れ様で……

—ああ  
そういえば

先日のお札にと  
国から届れたて菓実を  
頂いていたのです

陛下はほんに  
皆から慕われて  
おいでですね

これは……

陛下のお好みの  
ものばかりです

ぜひ召し上がって  
ほしいと

きょうか……

彼らに札を  
言っておいてくれ……



陛下は  
誠に真面目で  
いらつしやい  
ますね



いや……これから  
まだ仕事が……



「おひとつ  
いかがです？」



……はっは  
陛下



おもとていつも  
私に優しく謝うて  
おるではないか  
王としての  
在り方を……  
嫌という程



全ては陛下に  
よき王として……院長  
頭きたい一心での  
謝りなさいましたか……

それは物と腰  
というやつで  
ございますよ……



今更……そんなの

私に……そのような  
命懸きな欲を持つ  
権利など……



結婚はあなたも  
一人の子供に  
過ぎぬのですから

素直になつても  
よいのですよ？

わたくしの  
前だけでは



わたくしとは  
一度も触れあつて  
いないから  
でしょうか？

まだ本日は……

随分こちらを  
気にして  
おいでですな



先ほどから



……本当は



我儘  
なさらないで

欲のままに  
賣りつきたくて  
たまらない  
のでしょうか？



凄ましい  
子供のよりに



……どうして……



—どうして抗えない—？

おおりの  
麗音さん……♡  
良い  
ですき♡♡

おふう♡  
たまらん♡♡

んは♡♡

あー……♡  
良き心地です……♡

おは♡

ほおお♡

気持ち悪い

そのように  
暖房で扱われ  
ますとっ♡

イッ

おおおっ♡  
イクッ♡♡

こんな事……

楽しい訳が無い  
ムシムシ……

ムシムシ……



王とらさ  
身分に  
私なの

いっせいで  
仲間たちを助け  
たいわ

さ...

私は...

おめでとう  
おめでとう

おめでとう

おめでとう

おめでとう



身体の相性が  
良過ぎるのだ……

……



ふう…♡

喉を潤したい  
ですね…♡

おっと

ふんふん  
手垢な果実が…

胃も痛り  
ですねえ！



…

種々しく育った  
美しい果実を  
噛み潰す  
瞬間の快楽は

酸っぱい味わっても  
たまりませんよ…♡

そうは  
思いませんか  
陛下

…♡

思えば私の人生は  
王太子として産まれた時点で死んでも同然だった

誰にも認められず

誰からも愛されず

良き王子として

良き王子として人祭り上げられるだけの人形

世がたくは心を  
亡くしている事になど誰も気が付かぬ

それを知っているのは…

ああ……

さあ陛下……

国も… 王族も… 私自身も……

もう…… どうだって…

共に味わい  
ましょう  
甘い時間を……♥

どうなったって… いいのかもしれない……

陛下……

そういう場合は  
以前にも  
申したのですが……

わたくしめには  
随があるの  
ですよ……

そろそろ……  
いかがですか？  
お帰りに……

お待ちなさい♡  
陛下♡わたくしの  
話を……♡

おおおおおお♡







あが…

あが…

明明後日は  
妃様ですき  
王子の御手紙が来りませう

願願すべてに  
陛下の御手紙を  
見せるときですか

久方ぶりに  
護衛の音様も  
御呼びしての  
宴も予定しております

晴もる話も  
御座います  
でしょう

王の責務も忘れて  
一晩中ゆっくりりと…

我らの仲睦まじい  
契りを見せ付けて  
やりましょうぞ…♥

貴方がいる限り  
パルス国は  
安泰です

未永く  
お慕いして  
おりますよ…

陛下…  
♥

天上に輝く星 神々の寵児よ



御身の血と力に依りて



国と神とに平和が齎されん事を…



当時若干の難を醸した一枚。この絵が私の中で少年の体の描き方と方向性が定まったきっかけ  
 かもしれません。(背中が描きたかった記憶がある)

髪やけやさぎ  
 ツウィ邪魔な  
 かわいい

アルスラーン展下の  
 髪結いらくがき

糸色女に  
 良いにおいする

男の子だから  
 なんの問題もないし  
 じっくり自然と神聖な  
 ととも健全な装い

もみ  
 たい





髪を毛を食べた過ぎて描いた絵。風が通り抜けた瞬間良い匂いがしそうです。

アリスラン殿下下の  
美しい髪を毛を  
すすりたい  
すががき

殿下の髪をかきたくて  
アリスランが寝たし様を  
動物がアリスラン(人型)を

OPaの例のふたで  
乳首の作画を  
忘れていたよう  
なので足し  
おきました  
(観て心)

殿下の髪を  
いかに美しく見せるかを  
考えた結果の純粋で  
清廉な御姿なので  
激しく健全





優しい殿下が珍しく怒りをあらわにする貴重なシーン、おめかし衣装がかわいい。



暑いから  
仕方ない

命の搭巻  
してる殿下

神前決闘で

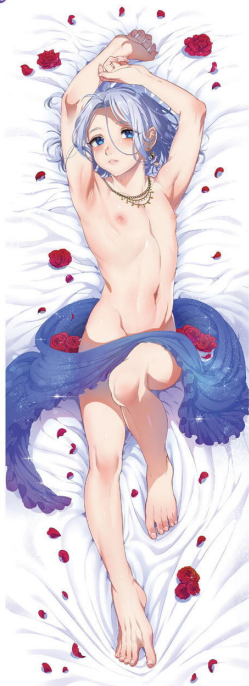
ダリュンの為に生まれた神めて  
他人を脅迫しちゃ  
アルスラン殿下愛おしい……

殿下は  
かわいいだけさな

かこい……  
そい  
美しい……

ダリュンを  
心奪った  
呼吸が苦しく  
なりあぐり夜の  
背をなぞりたい。  
なぞきすぎり  
まわりたい。

気の迷いが過ぎて制作したものです。実はこれが初のイベント参加+制作物でした。  
(※自サークルではなく知人卓にて参加)色々思い出深い作品です。



## AFTERWORD

あとがき

この度は貴殿下総集本をお読みいただきありがとうございます。

「貴殿下」は2016年にサークル初参加、初同人誌制作、初美少年モブエレロ漫画という初めて尽くしの中で勢いだけで生まれた狂気の作品です。近年はオリジナルの美少年シリーズに動んでおりますが貴殿下は池咲ミサの美少年作品の起源にして原点、プロタイプ的作品で大変思い出深く、また私の作家としての方向性を決定付けた 人生のターニングポイントといってもいい存在です。(今でも池咲ミサ=貴殿下を挙げてもらえたりなんかしても恐縮です)

殿下には本当にお世話になりましたし私が成長したように、殿下も陛下として立派にご成長あそばされました。

なので成長の証としてより良い形で残しておきたく、今回は記念本として豪華仕様の総集本を制作いたしました次第です。書き下ろし漫画や過去原稿を使って初めてのカラー漫画なども制作してみたので、画力も遂に上がり当時よりも楽しんで頂けるかと…。(というか絵が…もう初期のは見返すのがキツ過ぎました…)スケジュール的にページを調整しなくてはならず少々巻きの展開にはなってしまったのですが 少しでもご満足頂けるものになっていれば幸いです。

思えば当時は多分美少年凌辱があまりポピュラーでなく(今でもポピュラーではない)またこういうパッドエンドでメンタル系の鬱々とした少年系エロ漫画もあまり無かったからか想定以上に需要が産まれて嬉しかったぶん、「寂しい無いですか?殿下が心配で眠れません…」的な感想をたくさん頂いておりました。虚構しているつもりはないんですが今回の書き下ろしでも幸せなエンドとはいえず…可哀想可愛いが性癖なので…本当に申し訳ないです。でも陛下の中では落としたところがついた感じにはなったかなと思います。

以前までは自身の出生の謎(自分が恐らく王の真子ではないという疑念)と絡め苦悩しながらも王子としての身分を使い倒して身を汚していた彼ですが、流れて国王となり日々の責務と重任に追われる中で 続れを知らぬ市街の子供達同様「一人の子供として愛された、彼らのように自由を享受したかった…」という感情の狭間で苦しんでいました。その陛下の心の歪りを払うのは皮肉にも敵であったはずの種付けおじさん(ホディールおじさん)だったという…家族の愛を知らない彼としてはホディールおじさんで初めての父性を感じたのかもしれない。なので純愛endです(当社比)

そして少年王の枕外交によりなんだかんだ国は良い感じに采えていくので世間的にもとてもハッピーエンドでした。(枕外交って最高ですね。いつでも何度でも描きたいネタです)可哀想美しい殿下と陛下を どうぞ愛してあげてください…。

貴殿下シリーズはこれにてひとまずの完結を迎えます。初期から通って下さっている方々、ながらく作目を求めて下さっている方々も、本当にありがとうございました。最初の貴殿下のご好評頂けたお陰で今があるので 本当に感謝の至りです…。

今後もドスケベ高貴なえっち美少年を良い感じに表現できるよう精進して参りますので何卒応援頂けましたら幸いです。どうぞよろしくお願いたします。



黒ミサ令嬢

池咲ミサ

発行  
黒ミサ会場 / 池咲ミサ

初版  
2022.01.31

印刷  
アクシス出版

連絡  
ikezakimisa@gmail.com

制作  
池咲ミサ



@ikezakimisa



同人：334249



商業：7928116

デザイン

BREW



@brewD\_D



brewdesign000.com



n i e d e n k a

# 誓殿下

† Omnibus †

The Heroic Legend of Arslan

unofficial fan book - Omnibus



黒澤会場





